

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代社会と福祉Ⅱ		必修	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宮村 りさ子	B312	risako.miyamura	木曜日 11:00~12:30		
授業の目的・概要	<p><目的>社会福祉の基本理論と原理について学習し、現代社会の福祉について理解を深め。他者に福祉活動や福祉職の重要性を説明できることを目的とする。</p> <p><概要>本科目は社会政策と包括的支援体制や福祉政策の動向、福祉政策の国際比較や課題などについて、幅広く教科書や資料をもとに遠隔による講義を行う。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	日頃から社会福祉に関連のあるニュースや新聞記事に関心を持ち、考察して欲しい。				
教科書	新 社会福祉士養成講座 4 現代社会と福祉 第 4 版：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉政策の過程と評価について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(2)(3)(5)	
②	福祉政策の動向と課題について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(2)(3)(5)	
③	福祉政策と関連施設について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(2)(3)(5)	
④	福祉サービスの供給と利用の過程について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(2)(3)(5)	
⑤	福祉政策の国際比較について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(2)(3)(5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。	同時双方向型授業	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。		4
2	第 4 章「社会政策と福祉政策」、「社会政策のなかの福祉政策」「社会政策の体系と社会福祉政策」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
3	第 5 章「福祉政策の発展過程」、「近代化と福祉政策」「戦後改革と高度経済成長期の福祉政策」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
4	第 6 章「少子高齢化社会の福祉政策」、「福祉政策の調整と進展、1990 年代と 2000 年代以降の政策」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
5	第 7 章「福祉政策における必要と資源」、「必要とは何か」「必要と福祉政策」「福祉政策の資源」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
6	第 8 章「福祉政策の理念、主体、手法」①、「福祉政策の理念」「福祉政策資源の配分システム」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
7	第 8 章「福祉政策の理念、主体、手法」②、「福祉政策の手法と政策決定過程/評価」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
8	第 10 章「社会福祉制度の体系」、「社会福祉制度の構造」「社会福祉制度と福祉サービス」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
9	第 11 章「福祉サービスの提供」、「福祉サービスの提供=利用過程」「運営管理部門」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
10	第 12 章「福祉サービスと援助活動」、「相談援助の原則、視点、考え方と方法」「社会福祉への展開」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
11	第 13 章「福祉政策の国際比較」①、「欧米の福祉政策」「東アジア諸国の福祉政策」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
12	第 13 章「福祉政策の国際比較」②、「東アジア諸国の福祉政策」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
13	第 14 章「福祉政策の課題と展望」①、「社会不安と福祉政策の課題」「社会福祉の政策と解決過程」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
14	第 14 章「福祉政策の課題と展望」②、「包摂的福祉政策への展開」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
15	講義全体の振り返りをする。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。		4
試	定期試験 / 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		90	0	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～⑤について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～⑤に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。			正答や模範解答を公表する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。			次回の授業の初回に、フィードバックする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		1) Teams によるリアルタイム双方向型の授業の場合、通信容量が無制限の Wi-fi 環境での受講を推奨。 2) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。					